

開講にあたって

(略)

- 1 課 1) 名詞、形容詞の性と数 ①
- 2 課 1) 主語人称代名詞
2) 動詞 avoir と être の直説法現在
3) 冠詞
- 3 課 1) 規則動詞 -er 型と -ir 型の直説法現在 ①
2) 平叙文 (否定)
- 4 課 1) 冠詞縮約
2) 規則動詞 -er 型の直説法現在 ②
3) voici と voilà
- 5 課 1) 疑問文(oui / non)
2) 数詞 ① (1 ~ 20)
3) 名詞、形容詞の性と数 ②
- 6 課 1) 指示形容詞、指示代名詞 - c'est
2) 主な前置詞
3) 国名

指示形容詞・指示代名詞 — c'est 主な前置詞 国名

6.1. 指示形容詞・指示代名詞 — c'est

6.1.1. 指示形容詞(adjectif démonstratif)

指示詞とは日本語の「こ」「そ」「あ」「ど」にあたるものですが、フランス語の指示詞は日本語ほど遠近の区別が精密ではなく、特に指示形容詞は "ce" 1つしかありません。

男性単数	男性単数第二形	女性単数	複数
ce	cet	cette	ces

- a. Ce livre est difficile.
(この本は難しい)
(略)
- d. Cette publicité est efficace.
(この広告は効果的です)

(略)

6.1.2. 指示代名詞(pronoms démonstratifs) – c'est

A. 性数の変化を行う

男性単数	男性複数	女性単数	女性複数
celui	ceux	celle	celles

B. 変化を行わない

ce	ceci	cela	ça
----	------	------	----

☆ 既出の名詞を受けて人または物事を表す時はAの系列を用います。-ci, -làを付けることができます。

- e. Voilà deux gâteaux. Je prends celui de gauche.
(ここにケーキが2つあります。私は左のをもらいます)
- f. Vous connaissez le frère de Jean? – Non, mais je connais celui de Paul.
(ジャンの弟を知っていますか。—いいえ、でもポールの弟を知っています)
- g. La longueur de la jupe concorde avec celle de la doublure.
(スカートの長さと言地の長さが合っている)

(略)

Exercices 6

1. 次の文の括弧内に適切な指示形容詞または指示代名詞を入れ、次に訳しなさい。

1) Elle porte une robe neuve. () robe sans manches est très simple.

(略)

2. 次の文を訳しなさい。

1) J'achète du ruban doré et des boules pour la décoration de l'arbre de Noël.

(略)

3. フランス語に訳しなさい。

1) その会社(société)はファスナー(fermeture à glissière)をフランスに輸出しています。

(略)

【コラム 6：フランス語にない表現、日本語にない表現（1）】

フランス語にない表現

日本語とフランス語には、文法や発音などの大きな違いのほか、細かい表現や言い回しの違いもたくさんあります。その中で、特にファッションに関連した表現の違いについてみていきましょう。今回は、日本語にあってフランス語にない表現です。

<動詞の使い分け>

日本語では、服なら「着る」、帽子なら「かぶる」、靴なら「履く」など、対象によって動詞を使い分けますが、フランス語にはこのような細かい使い分けはありません。名詞と動詞の一般的な組合せ（コロケーションといいます）を、以下に示します。

日本語	フランス語
セーターを <u>着る</u>	mettre un pull
靴を <u>履く</u>	mettre des chaussures
帽子を <u>かぶる</u>	mettre un chapeau
ズボンを <u>履く</u>	mettre un pantalon
メガネを <u>かける</u>	mettre des lunettes
マフラーを <u>巻く</u>	mettre un écharpe
手袋を <u>はめる</u>	mettre des gants

このように、フランス語では **mettre** の一語でほぼ言い表すことができます。状態を表す場合は **porter** を用います。

<数え方の使い分け>

(略)